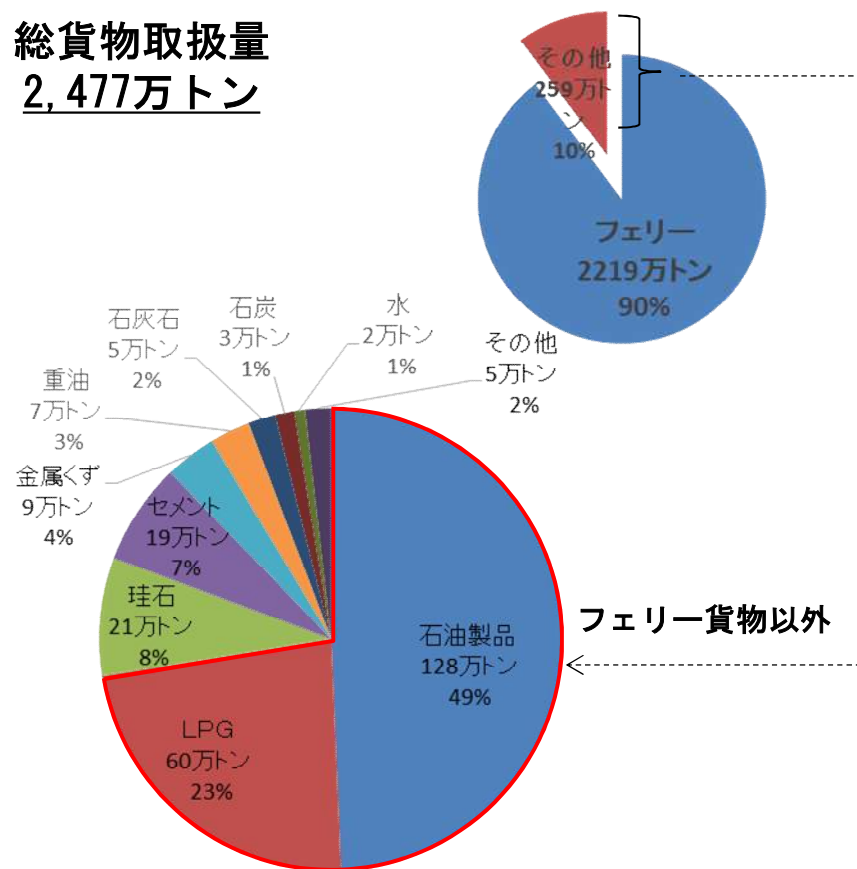


# 青森港の取扱貨物の状況

- 取扱貨物量約2,480万トンの約9割は、フェリー貨物(H29年)。
- フェリー貨物以外の約7割が、石油製品(ガソリン、軽油等)、LPGのエネルギー関連貨物。
- 外貿貨物は、金属くず(輸出)やLPG(輸入)、石炭(輸入)が約4%。

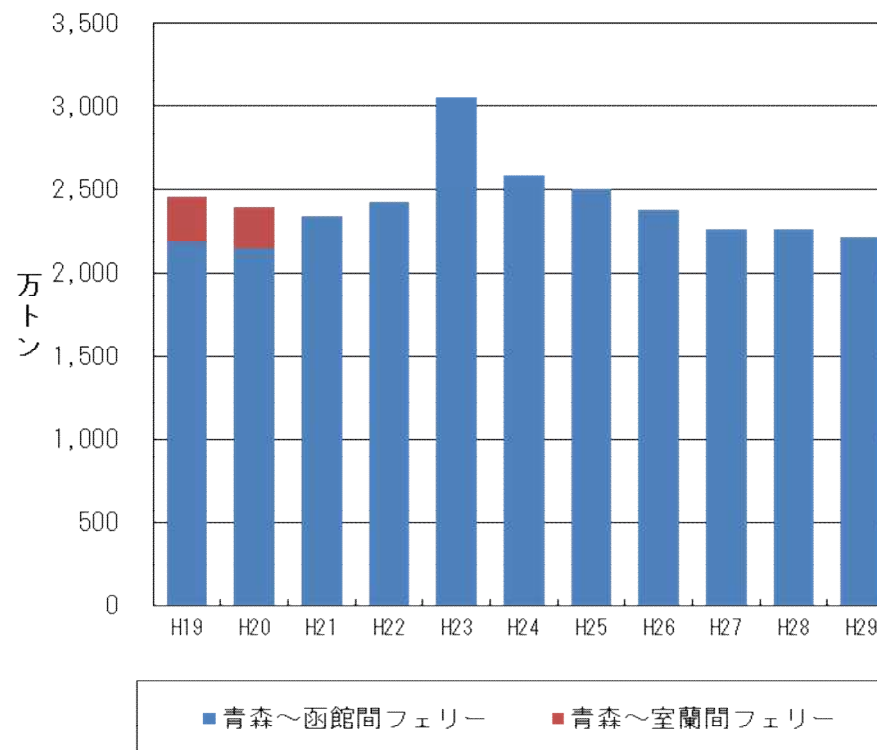
## ◇青森港の取扱貨物の内訳

総貨物取扱量  
2,477万トン



約7割がエネルギー関連貨物

## ◇フェリー貨物量の推移

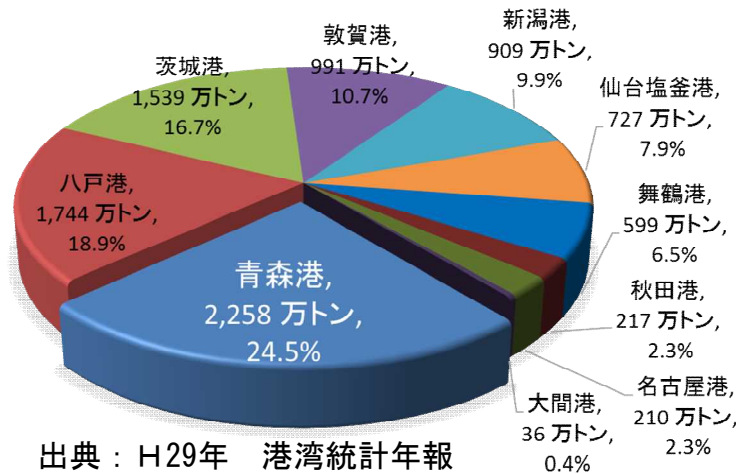


出典：H29年青森港港湾統計年報より作成

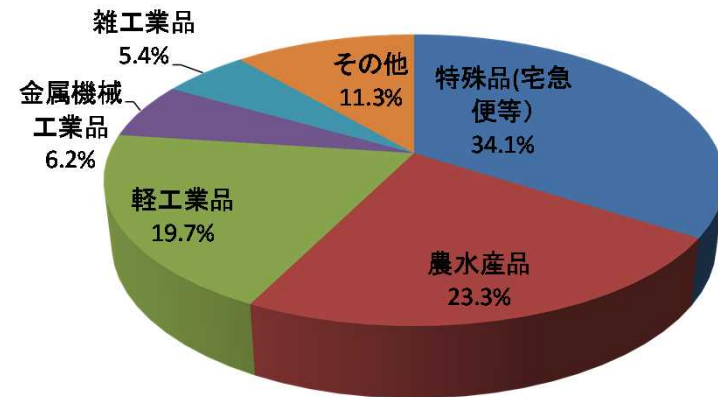
# 本州と北海道をつなぐ物流の大動脈～フェリー貨物～

- 本州－北海道間を結ぶ航路のうち、海上輸送距離・時間が短く（112km、3時間40分）、高頻度（16往復・32便/日、24時間稼働）の利便性の高い航路
- 本州－北海道間のフェリー輸送の約3割（全国1位）を担う、物流の大動脈
- 貨物の内訳は、宅急便や農水産品、軽工業品の構成割合が高い

【本州-北海道間の港別フェリー輸送比率】 ※トン数ベース

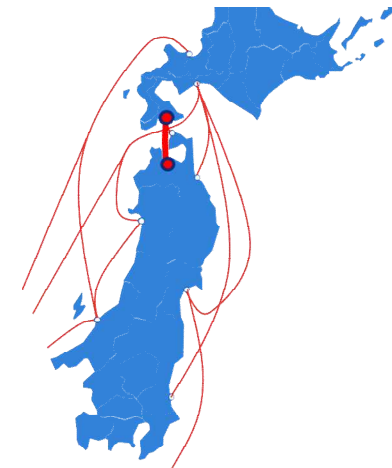


【品目別構成】 ※件数ベース



出典：H23年青森港湾事務所調べ

【本州-北海道間のフェリー航路図】

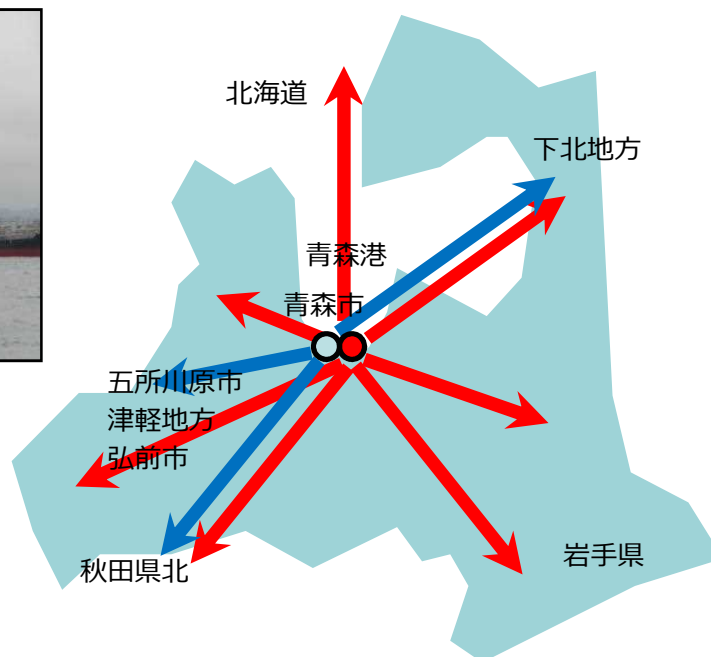


# エネルギー供給拠点

- 青森港は石油製品やLPG等のエネルギーの供給拠点であり、青森県内で使用される量の大部分を供給。
- 青森港に輸入されたLPGは北海道や秋田県に移出され、北海道・北東北の配分基地となっている。



青森港沖館地区  
東西オイルターミナル(株)



青森港野内地区  
ENEOSグローブガスターミナル(株)

## 【石油製品（ガソリン、軽油、灯油等）】

- 移入量 約126万t(H29年)<sup>※1</sup>
- 津軽地方、下北地方、秋田県北へ供給  
(青森市内、五所川原、弘前、下北、秋田県北)
- 青森県内の想定販売量は、約213万t(H29d)<sup>※2</sup>
- 青森県内の消費量の約6割(H29)

※1：出典 H29青森港港湾統計年報  
 ※2：出典 石油連盟HP、日本LPGガス協会HP

## 【LPG】

- 北東北唯一のLPG輸入拠点
- 輸入量 約37万t(H29年)<sup>※1</sup>
- 輸入先はアメリカ、カタール、クウェート、アラブ首長国
- 移出約23万t(北海道：約19.5万t、秋田港：約2.5万t、その他約1万t)<sup>※1</sup>
- 青森県内の販売量は、約12万t(H29d)<sup>※2</sup>